

IPU・環太平洋大学 学生支援方針

1. 基本理念

IPU・環太平洋大学は、「挑戦と創造の教育」を建学の精神に置き、非認知能力の育成を教育の中核に据えている。学生一人ひとりが自ら学び、自ら動き、自ら未来を切り開くために、教職員が寄り添い、共に歩む伴走型支援を実践し、さらに、多様な学生が安心して学び、成長し、地域と世界に貢献できる人材へと羽ばたく環境づくりを推進する。

2. 学生支援の目的

- 非認知能力の育成を中心に、人間的成長と学修成果の両立を図る。
- 学生ができるまで一緒に伴走する共育文化を育む。
- 生活・健康・経済面を包括的に支え、学び続けられる環境を保障する。
- 地域・海外との交流機会を通じ、実践的な社会力・国際力を育成する。
- 社会的・職業的自立を支援し、卒業後のキャリア形成を円滑にする。

3. 学生支援の基本方針

(1) 非認知能力の育成を軸にした学修支援

- 主体性・協働性・粘り強さを育む入学前・初年次教育プログラムを展開する。
- ゼミでの対話、オフィスアワー、ピアサポート等を整備し、学修の個別ニーズに対応する。
- 基礎学力向上から専門教育まで、学修の進捗に応じた伴走型支援を提供する。
- ICTを活用した学習環境整備や遠隔授業体制を推進する。

(2) 寄り添い続ける学生生活支援

- 学生支援部門・学部・教職員が緊密に連携する伴走型体制を構築し、“孤立させない大学”を実現する。
- 休学・退学等のリスクの早期発見及び早期支援に努めるとともに、必要に応じて組織的な支援を実施する。
- 出席不良、学業不振、心身の不調、経済的困難等の課題を抱える学生に対しては、関係部署及び保護者等と連携し、修学継続に向けた伴走型支援を行う。
- メンタルヘルス支援の専門職による丁寧な相談体制を整え、安心して話せる環境を保障する。
- 障がい学生支援・合理的配慮を徹底し、誰もが学びに参加できるインクルーシブなキャンパスを目指し、キャンパスのバリアフリー化を進める。
- 経済的困難を抱える学生への奨学金・緊急支援制度を柔軟に提供する。
- 学生寮・住居支援・生活安全支援など、安心して学べる生活基盤を整備する。

(3) 挑戦を応援する課外活動・成長支援

- スポーツ、文化活動、地域活動など、学生の挑戦を“全力応援する”IPU文化のもと、環境・指導体制を整備する。
- トップアスリート育成、こどもスポーツ支援、国際交流など、学部の特色を活かした成長の舞台を提供する。
- 地域貢献活動やボランティアを促進し、社会とつながりながら学ぶ姿勢を育成する。
- クラブ・サークル活動を通じた人間力育成を支援する。

(4) グローバル×ローカルの視点を育む国際支援

- 留学生の生活・学修の両面を丁寧に支援し、多文化が共生するキャンパスを形成する。
- ニュージーランドを中心とした海外拠点と連携し、交換留学・短期派遣・海外実習の機会を拡充する。
- 国際協働プロジェクトを推進し、グローバル課題への主体的な参画を支援する。
- 海外留学希望者に対し、情報提供、語学支援、危機管理教育を行う。

(5) 未来を描き続けるキャリア支援

- 入学前からキャリア観形成を行い、学生の「やりたい」「なりたい」を言語化する支援を行う。
- 地域企業、自治体、国内外企業との連携によるインターンシップ・採用支援を展開する。
- 卒業後も相談可能な生涯キャリアサポートを目指す。

4. 支援体制（One IPU体制）

- 学生センター、キャリアセンター、国際センター、保健室、学部教員、職員、アドバイザーが横断的に連携し、ワンストップ支援を提供する。
- 学生の修学継続を支援するため、関係部署が定期的に情報共有を行い、出席不良、学業不振、心身の不調、経済的困難等の課題を抱える学生の早期発見及び早期支援を実施する。
- 教職協働型で支援を行い、学部・ゼミ・学生相談窓口が密接に連絡を取りながら学生を見守る。
- ハラスメント委員会や危機管理委員会と連携し、安心・安全なキャンパスづくりを徹底する。

5. 情報公開とフィードバック

- 支援制度・窓口情報は透明性をもって公開し、学生がアクセスしやすい形で提示する。
- 学生アンケート、面談記録、意見交換会などをもとに支援内容を継続的に改善する。
- 学生・保護者・地域と対話しながら、大学全体の支援力を高める。

6. 個人情報保護

- 学生支援にあたり取得した情報は、関連法令および大学の個人情報保護方針に基づき適切に管理する。
- 個人の人権を尊重し、プライバシー保護を徹底する。

7. 危機時の対応

- 災害、感染症、事故、心身の危機など緊急時には、大学の危機管理体制に基づき迅速かつ最優先で学生の安全を確保し、適切な支援を行う。
- 必要に応じて行政・医療・専門機関と連携し、適切な支援を行う。

8. 方針の見直し

- 社会状況、学生ニーズ、本学の教育理念の変化に応じ、定期的な見直しを行い、より良い支援体制へと発展させる。